



講演タイトル	火山噴火の地域への影響と避難計画
講演者	大島町 防災対策室防災係 防災情報アドバイザー 浅沼 光輝 氏
講演要旨	
<p>1 伊豆大島の噴火の特徴</p> <p>伊豆大島では、何百万年前から噴火を繰り返している。山頂部からの噴火が多いが、山頂以外でも複数の側火山が活動し、住家への影響も懸念される。過去の噴火の歴史や調査による噴火の特徴を大島町「火山防災の手引き」から紹介。</p> <p>2 噴火警戒レベルと防災対策</p> <p>伊豆大島には数多くの観測機器が設置され常時、監視されている。噴火予知はできないが、噴火前には火山性微動の発生、地殻変動など変化が見られることが多い。これら想定される火山現象から「噴火警戒レベル」が発表され、「警戒が必要な範囲」と「住民がとるべき防災対応」が示される。</p> <p>避難は、避難行動要支援者はレベル4、一般住民はレベル5で島内の安全な地域へ避難を行う。島外避難が想定されるのは、火砕流や噴石などにより島の全域に影響のある場合、ライフラインの被害により島内の生活が困難、台風などの接近で避難が困難になると予想される場合など。</p> <p>3 避難準備と避難計画</p> <p>1986年の噴火では、現在の噴火警戒レベルの3から5に達するまでに数時間しかなく、急遽、島外へ避難する事態となった。伊豆大島避難計画では避難の流れや避難経路など影響する地域別に避難計画を示している。各家庭でも避難する際には、島外避難を念頭に日頃から避難準備・避難計画を考えてほしい。</p> <p>避難所、非常持ち出し品の確認。 家具の転倒・物の落下対策（火山活動に伴う地震） 雨どい・排水溝の掃除（火山灰・スコリアの降下対策） 家族との連絡先・方法（携帯電話の輻輳） ペットの移動用の籠・ケージ・餌（避難用）の準備 など</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">   </div>	